

登米市のできごと
おしらせします！

TOPICS

高校総体・空手道大会で 登米市を全国に轟かせ

米谷工高アーチェリー部・ 和道会迫支部が入賞報告



全国高校総体アーチェリー男子団体で3位入賞した米谷工高アーチェリー部

8月8日から11日まで、千葉県で開催された全国高校総体で、アーチェリー男子団体3位に入賞した米谷工高（入間川正校長）の部員が8月24日、市役所迫庁舎を訪れ、布施市長に入賞報告しました。

訪問したのは、3年生の主藤一貴君、松木俊道君、工藤靖也君、伊藤和也君の4選手と、1年生でマネージャーの須藤英太君（いずれも東和町）。3位入賞の賞状と銅メダルを市長に披露しました。

主将の主藤君は「昨年の4位を上回ることができて、とてもうれしい。後輩たちにはさらに上位を目指してほしいです」と感想を話しました。

市長は「インターハイ3位は大変素晴らしい成績。これからも練習に励み、次は違う色のメダルを目指してほしい」と激励しました。

また、9月13日には「全日本空手道連盟和道会迫支部（武川秀和師範）」に所属する7選手が市役所迫庁舎を訪問。8月19、20日に日本武道館などを会場に開催された、和道会全国空手道競技大会の入賞報告をしました。

上位入賞したのは「中学生男子個人組手」で優勝した工藤竜悦君（中田中3年）、「少



布施市長に入賞報告をした和道会迫支部の選手

年男子個人組手」で3位入賞の大畑和馬君（東北工大付属高1年II迫町）、「小学生1・2年女子個人組手」で3位入賞の鈴木沙奈さん（西郷小2年）の3選手。ほかの選手もベスト16入賞などの好成績を収めました。

優勝した工藤君は「全国で優勝できたのも、日ごろの練習の成果と先生やコーチの指導のおかげです」と話しました。

市長は「好成績は練習の積み重ねの成果。これからも技術と心を磨いて頑張ってください」と話しました。

北上川・迫川の環境保全に

豊里小児童が川の健康診断



川魚などの水生生物を調査した豊里小の児童

8月31日、北上川鶴波渡船場、9月14日、迫川ニツ屋橋付近で、豊里小学校（石川孝泰校長）の児童による水質調査が実施されました。

実施したのは、北上川流域市町村連携協議会から「川の

健康診断士」の認定を受けた皆さん。環境保全問題の調査を目的に、市内では豊里小児童11人と、柳津小児童8人が認定を受けています。

年に3回程度、水質、水生生物、鳥類、昆虫類などを調査、比較し、汚染原因の検討を行っていきます。

今回の調査では、迫川が北上川よりも水の濁りがあることや、川の流れがゆるやかな所に川魚がいることなどが分かりました。

調査で捕れた川魚は、学校に持ち帰り、児童たちで育てています。

地元食材で食育の大切さを

迫で食材まつり



シイタケの収穫体験をする参加者（新田中学校生徒）

9月17日、迫町長沼ウイングガーデンで、食育推進活動の一環として、食材まつり（迫町認定農業者連絡会議主催）が開催されました。



昼食は地元産の食材を使った料理が並びました

市内外から180人が参加。シイタケ生産現場の視察や農業生産者との意見交換、地元産の新鮮食材を使った昼食などで、食育の大切さを学びました。

シイタケ生産現場の視察は、高橋龍一さん（迫町新田）の栽培ハウスで行われ、シイタケの生育方法や収穫の仕方などを体験しました。

意見交換会では「安全な食」について話し合い、その後は地元産のはさま牛や赤豚、野菜などを使った約40種類の料理で昼食。参加した皆さんは、地元食材の魅力をあらためて感じていました。



形が出来上がってきたクワガタなどの木彫り

プロの技術、チェーンソーアート

津山もくもくフリーマーケットで実演

8月21日、津山町もくもくランドを会場に「もくもくフリーマーケット（津山浪漫thing主催）」が開催され、大勢の人々にぎわいました。

フリーマーケットは午前9時オープン。約20店が出店し、洋服や日用雑貨などが販売されました。

また、特産品である津山杉を使ったチェーンソーアート

の実演が、午前と午後1回ずつ行われました。

岩手県から来た3人のチェーンソーアーティストが、フクロウやクワガタなどの木彫りを約1時間30分で作製。作品は、オークションで競り落とされました。

訪れた人たちは、プロの高い技術と完成した木彫りの見事な出来栄に、驚いていました。